

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 13 日

事業名称		中央公民館事業費 [中央公民館施設管理]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業番号	1			
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館 課 事業 係				課長名	伊藤 智					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	15 - 23				
【施策名】 生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立						総合計画書 (ページ)	35・110				
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	中央公民館利用者 →				中央公民館利用者数 (集計表あり)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	利用者が安全に利用できるようにする →				公民館の利用率 (集計表あり)						
指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①施設内外の点検・確認 ②業者に点検委託している ③工事修繕 →				①開館日数 (集計あり) ②委託件数 (予算書等参考) ③施設工事修繕件数 (実績より)						
3 経費	事業費(実績)		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	人	83,541	33,175	46,194					
	成果指標	②の数値	%	63.4	46.3	55.4					
	目標	②の目標値	%	100	100	100					
目標値設定の考え方 開館日数に対する学習室等の使用率											
3 経費	活動指標		③の数値	①日 ②件 ③件	①283 ②8 ③10	①253 ②8 ③3	①306 ②8 ③15				
	財源	一般財源		円	80,665,839	5,128,089	4,951,438		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
		特定財源(国・都・他)		円	59,165,850	0	0				
		(うち受益者負担)		円	326,850	0	0				
		所要人数(再任用以外)		人	1.25	1.25	1.25				
	人件費(目安)	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0				
		職員人件費(再任用以外)		円	10,387,500	10,475,000	10,312,500				
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	91,053,339	15,603,089	15,263,938						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和49 年度								
	(2) 環境の変化 ・平成26年度耐震化工事 ・平成31年度外壁及び屋上防水改修工事、ホール天井改修工事 ・令和3年度トイレ洋式化、洗面台自動水洗化(一部) 平成31年度より「3経費」の計上方法を変更した(「中央公民館事業」に経費を一括して計上していたが、「中央公民館事業」「中央公民館施設管理」「公民館運営審議会の開催」「五館合同事業」にそれぞれ計上するようにした(人件費を除く))。										

事業名称	中央公民館事業費 [中央公民館施設管理]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業係	課長名 伊藤 智

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・だれでもトイレの利便性向上、施設修繕要望	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 修繕を必要とする箇所が多数あるため、状況把握に努め、計画的に修繕を実施する必要がある。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ・だれでもトイレを新設する為、建築課と調整を行い、令和4年度内に改修予定である。 ・修繕については予算に限りがあることから、職員で出来るものについては職員で修繕を実施、他については優先事項を定め専門業者に修繕依頼。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 令和2年度に実施した建物劣化診断結果報告では多数の修繕箇所がある。どの部位をどの範囲で修繕する必要があるのかを見極め、適切な対応を行う必要がある。	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 計画的に修繕を実施し、大規模修繕が必要なものについては実施計画に計上し、予算確保に努める	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・修繕箇所の把握、適切な修繕方法の検討。	